

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト  
(障害者スポーツの実施環境に整備等に向けたモデル創出事業)

# 取組成果報告

取組テーマ： オープンスペースを活用したインクルーシブなスポーツ実施環境の整備

公益社団法人広島パラスポーツ協会



- ◆ 事業の概要と結果・考察を簡潔にまとめてください
- ◆ 公募要領にはパワーポイント4枚程度  
プレゼンテーションする場合に10～15分でお話いただけるくらいの量を目安にしてください
- ◆ 以下のポイントを含む内容にしてください
  - ・事業概要
  - ・事業の実施体制・スキーム  
(事業に関わった障害者スポーツ団体・企業・自治体が、それぞれどのような役割をもって連携する体制なのかがわかるように)
  - ・事業の成果と考察  
(主に事業継続や横展開に向けたポイント、課題について)
  - ・次年度以降の計画
- ◆ 本資料および事業報告書 (Word) は、後日U-SPORT PROJECTホームページに掲載予定です。  
写真などを入れる場合はにはご注意ください。

# 事業概要・実施体制（1）

- 1 名称  
インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023
- 2 要旨  
障害の有無にかかわらず、だれもが参画し、楽しめる「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ」を開催し、パラスポーツの機運醸成を図り、県をはじめ、市町、競技団体、企業等、多様な主体と連携を図りながらスポーツを通して、多様性を認め合う平和な共生社会の実現を目指す。
- 3 開催日程  
令和5年9月30日（土）～令和5年10月1日（日）
- 4 会場  
メイン会場：東広島市（東広島運動公園、大創産業駐車場）  
サブ会場：東広島市周辺市町（呉市、竹原市、三原市、三次市、大崎上島町、世羅町）
- 5 主催  
公益社団法人広島パラスポーツ協会  
インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023実行委員会  
（主な構成員）  
顧問 広島県知事、東広島市長、呉市長、竹原市長、三原市長、三次市長、大崎上島町長、世羅町長  
会長 公益社団法人広島パラスポーツ協会 会長  
実行委員 県スポーツ推進課長、開催市町担当課長、競技団体、企業、理学療法士会、指導者協議会等の代表者等

※実施体制：県パラスポーツ協会内に実行委員会を設置。協会事務局が全体運営の企画・進行を管理し、開催市町の担当課長や、体験会の運営主体である競技団体の代表者、企業等ブースの運営主体である企業・理学療法士等の代表者等が実行委員に就任し、各運営を担った。

## 6 実施内容

パラスポーツの体験会（16競技）をはじめ、パラアスリートによるトークショーや、企業のアトラクションブース、キッチンカーなどを設置し参加者が楽しく過ごすことができるフェスタを展開。

### ➤ 開会式

県パラスポーツ協会会長をはじめ、県知事・開催市町長やトップ・パラアスリートのほか、サポーターの広島東洋カープOB安部友裕さん、広島ドラゴンフライズ朝山正悟選手、ヴィクトワール広島宮崎健太選手が登壇し応援メッセージ等のほか、特別支援学校の児童・生徒からも参加者代表等のあいさつがあった。



### ➤ ボッチャエキシビジョンマッチ

ボッチャ元日本代表古満渉選手解説のもと、パラアスリート走り幅跳び日本代表中西麻耶選手、サポーターの安部さん、朝山選手等がボッチャ対決をした。**だれもが共に楽しめるパラスポーツの魅力を発信した。**



### ➤ トークショー

トップ・パラアスリートの白砂匠庸選手（やり投げ）、中西麻耶選手（走り幅跳び）、古満渉選手（ボッチャ）、香西宏昭選手（車椅子バスケットボール）による、各パラアスリートの競技にかける熱い思い等を語った。



メイン会場（東広島市）における体験会及び企業ブース等は、各競技団体や企業等が主体となって各会場の運営した。  
サブ会場（東広島市周辺）において、市町と共に競技団体やスポーツ推進委員等が体験会を運営した。

## ➤ 体験会

7市町において、車椅子バスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカー、フライングディスクなど**16競技の体験会**の開催があった。

### 【体験例】

各競技団体等が運営した体験会において、中西選手が走り方などの技術指導をするなど、競技用義足をセッティングし走る楽しさ・喜びを感じてもらおう「**ギソクの図書館**」を開催した。

また、**車椅子バスケットボール**では日本代表香西宏昭選手が、**やり投げ**では日本代表白砂匠庸選手が試技のほか指導も行った。



## ➤ 企業・関係団体ブース、キッチンカー

（株）大創産業のブースでは「ダイソー商品でDIY体験」、（株）かんぽ生命保険のブースでは血管年齢測定、日本生命保険相互会社のブースではスポンサー契約の香西選手との写真撮影などを行った。会場の空きスペースで行われた企業等ブースには多くの参加者であふれた。また、メイン会場の入口にはキッチンカーも出店した。



## ➤ ボランティア協力団体

企業、大学、スポーツ推進委員等 計259名のボランティアの参加があり、**メイン会場・サブ会場において、フェスタの運営（開会式準備や体験会運営等）を支えた。**



## ● 成果

- 開催2日間を通して、**7市町16競技の体験会には約900名の参加者**に加え、**ボランティア、運営スタッフ、観客を含め計3,000名**が集い、障害がある人もない人も共に楽しめるパラスポーツの体験会等を通し、家族、友人、職場の仲間などと共に来場した参加者には温かな笑顔あふれるイベントとなった。
- 事業継続においては、来年度はフェスタ2024を福山市をメイン会場に開催するとともに、フェスタ2023で開催された体験会が、引き続き同じ開催市町で開催予定である（東広島市での「ギソクの図書館」、呉市での「ハンザヨット体験会」）。
- 横展開に向けたポイントとしては、インクルーシブ・スポーツ・フェスタでは、協会を中心に、様々な関係団体（市町、競技団体、民間企業、大学、ボランティア、指導者、理学療法士等）と連携を図りつながることができ、今後多様なキープレーヤーの一員として、施策を支える土台作りの一歩を踏み出すことができた。

## ● 考察

- 課題としては、約半年間という短期間での準備となり、フェスタ直前は繁忙を極めたため、来年度フェスタについては、早めに準備にとりかかっているところである。
- インクルーシブ・スポーツ・フェスタを継続して実施するためには、様々な関係団体（市町、競技団体、民間企業、大学、ボランティア、指導者、理学療法士等）と連携を図る必要がある。また、一過性のものにならないために、関係団体と良好なネットワークを構築し、情報交換・共有できる体制を構築することが必要である。

# 次年度以降の計画

## ● インクルーシブ・スポーツ・フェスタ事業計画

県内を4つに分けて、**4年に1回の持ち回りとして**、障害の有無に関わらず、誰もが参画し、楽しめる「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島」を、**県内4エリア**で開催し、県内各地域でのパラスポーツの機運醸成を図り、パラスポーツの普及啓発を目指します。

## ● 令和6年度の計画

**福山市を中心に**、開催地域の団体（民間企業や学校など）と新たに連携を図り、新たなネットワークを構築し、開催する予定です。

## ● 今後のパラスポーツの取り組みの方向性

3つの施策である、①「**普及啓発・認知向上**」②「**場の充実・機会の提供**」③「**競技力向上**」を有機的、連続的に結び付け、行政、競技団体、民間企業、学校、ボランティア、指導者、理学療法士などの多様なキープレイヤーと一体となって、**パラスポーツを通じた活力ある共生社会（インクルーシブ社会）の実現**を目指します。

